

衆議院環境委員会ニュース

平成 28. 4. 22 第 190 回国会第 10 号

4 月 22 日（金）、第 10 回の委員会が開かれました。

1 地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 51 号）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人） 福岡大学名誉教授

特定非営利活動法人気候ネットワーク理事

ジャーナリスト・環境カウンセラー

東北大学教授

浅野直人君

平田仁子君

崎田裕子君

明日香壽川君

（質疑者及び主な質疑内容）

吉野正芳君（自民）

- ・地球温暖化問題への取組に当たっては国民に意識付けしていくことが重要であることを踏まえ、国民運動に関する崎田参考人の見解を伺いたい。
- ・地球温暖化に対する適応策を一層広めていくための方策について、浅野参考人の考えを伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・2030 年 26%削減目標達成に向け家庭部門では 4 割の排出削減が必要とされるが、削減達成のためにはどの程度の国民負担が求められることとなるか、浅野参考人及び崎田参考人の考えを伺いたい。
- ・脱石炭火力発電に向かって世界の先進国は動いている。この潮流に逆行する日本とこれらの先進国との違いについて、平田参考人及び明日香参考人の考えを伺いたい。

田島一成君（民進）

- ・長期目標達成に向けた取組としての本法律案の客観的な評価について、各参考人に伺いたい。
- ・炭素の価格付けについて、各参考人の見解を伺いたい。また、地球温暖化対策税について、将来的にはどれくらいまで引き上げるべきと考えるか、各参考人に伺いたい。

真山祐一君（公明）

- ・地球温暖化防止に向けた国民運動を効果的に展開するための方策について、各参考人に伺いたい。
- ・今回の法改正により地方公共団体実行計画の共同作成が可能になるが、これに対する評価について平田参考

人及び崎田参考人の所見を伺いたい。

小沢鋭仁君（おおさか）

- ・今回の法改正に中期、長期それぞれの温室効果ガス排出削減目標を盛り込むべきと考えるが、各参考人の所見を伺いたい。
- ・炭素税及び排出量取引制度といった炭素の価格付けのメカニズムの必要性について、平田参考人の見解を伺いたい。

玉城デニー君（生活）

- ・環境省の気候変動長期戦略懇談会が、エネルギーの低炭素化を進めるために、バイオマス、地中熱、太陽熱など可能な限り再生可能エネルギー熱を利用する必要があると提言しているが、現在の普及状況について浅野参考人に伺いたい。
- ・気候変動に対してグローバルな観点から我が国においても今取り組むべきことを啓蒙啓発すべきと考えるが、明日香参考人の見解を伺いたい。